

Weekly コラム

平成 27 年 4 月 21 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

流れ星に願いを

突然、夜空にきらめく一筋の光、一瞬で消えてしまう流れ星。この流れ星にまつわる日本で最も有名な逸話は、星が消えるまでに願い事を 3 回唱えろと、願いが叶うというものです。ただ、流れ星が発光している 1 秒前後で願い事を 3 回も唱えることが不可能に近いことは多くの人が経験していることだと思います。ところが、近い将来これが可能になるかもしれません。

現在、東京のベンチャー企業を中心に、人工流れ星を作り出す試みが進められています。そもそも流れ星とは、宇宙を飛ぶ極小の天体が、地球の大気圏に秒速数 km から数十 km という猛スピードで突入し、大気分子と衝突してプラズマ化したガスが発光する現象のことを言います。つまり、この現象を人工的に作り出すことで、人工流れ星を発生させるわけです。具体的なメカニズムは、①直径 1 cm ほどの人工流れ星の素材を搭載した人工衛星を打ち上げ②宇宙空間で素材を放出③放出された素材が大気圏で燃え尽きる際に発光し、流れ星に見えるというものです。明るさは 2 等星の北極星よりも肉眼で確認しやすい、1.5 等星程度で、決められた場所で正確に流れ星を発生させる機械の実用化の目途も立っているそうです。また、人工流れ星を作った後の人工衛星は、打ち上げから数か月で大気圏に突入して燃え尽きますので、宇宙ゴミにはならないそうです。

人工流れ星にかかる総費用は約 5 億円です。マストドライブと言われる流れ星放出装置には約 1000 発の流星素材を積めますので、1 発 100 万円とすれば十分利益を出すことが可能です。また、このベンチャー企業は、5 年後の東京五輪の式典での披露を目標としていて、昨年 5 月に参加した「日本・宇宙議員連盟」ではすでに良い反応が返ってきているそうです。もし、人工流れ星が実用化され、東京五輪で披露されれば、世界中の注目を集めることは間違いありません。そうなれば、日本にとって大きな経済効果を生むことになります。また、テーマパークのイベントや結婚式の演出など、エンターテインメント事業における将来的な用途の広がりにも大きな期待が持てそうです。

このように人工流れ星の実用化への期待は、今後日増しに高まりそうです。ただ、滅多に見ることのできない流れ星をいつでも見ることが可能になれば、今までのような希少性は失われてしまいます。それでも「世界中の人に見てもらいたい」と開発者が語るように、そのマイナス面を補って余りある感動と経済効果を与えるものになるのではないのでしょうか。東京五輪が、人工流れ星によって世界中の人々の記憶に残る五輪となり、一瞬では消えない日本経済の光となることを願って止みません。

